

品目:キク / 天葉を中心に白い斑点, 特に上位葉が激しく下位葉では少ない



原因は不明

品種:優花

発生時期:2002.7月下旬~8月

葉の無機成分量

農家		葉の無機成分量						
		P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn
		(%)			(ppm)			
A	障害	0.35	8.1	1.3	0.37	186	106	36
A	正常	0.28	8.4	1.4	0.40	197	47	35
B	正常	0.35	8.5	1.2	0.46	160	135	29

品目:キク / 展開葉(新葉)の黄化, 奇形(縮れ葉)



原因は不明

品種:美吉野

発生時期:2002.9月中旬~10月

葉の無機成分量

	葉の無機成分量								
	P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn	B	
		(%)			(ppm)				
正常	0.40	4.23	1.49	0.37	130	67	55	38	
障害	0.48	4.64	1.55	0.40	155	100	40	50	

品目:ブドウ / 葉縁および葉脈間の淡色化, 黄変  
(基部葉から先端葉へ進行。成葉で多く発生。)



品種:ロザリオビアンコ(台木:T5BB)

発生時期:2003.4. 上旬

原因:葉面散布によるリン酸の過剰症。

(可給態リン酸値は, 改善目標値10~50を超えているが, 県下の実態として200を超える土壌も多々あり, また, 重症の値の方が低くなっているため, 土壌のリン酸過剰の可能性は極めて低い。)

対応策:散布液のリン酸濃度を下げる, または葉面散布の中止。

葉中無機成分含有量

	葉中無機成分含有量							
	P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn	
		(%)			(ppm)			
正常	0.32	1.55	0.83	0.17	108	224	31	
軽症	0.77	1.06	1.24	0.17	108	220	40	
重症	0.99	0.94	1.44	0.20	137	265	44	

土壌中可給態リン酸含有量 および pH, EC

	土壌中可給態リン酸含有量 および pH, EC		
	可給態リン酸 (P2O5mg/100g)	pH	EC (mS/cm)
正常	216	7.7	0.07
軽症	227	7.9	0.11
重症	98	7.7	0.08

pH, ECは  
生土:水=1:5 の値